
俺が生徒会長！？

左右

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺が生徒会長！？

【Nコード】

N8041Q

【作者名】

左右

【あらすじ】

遊英高校では「くじびき」で生徒会長が決まる。3年生は受験に専念するように、生徒会は2年生と1年生で構成される。そしてくじびきの対象になるのは2年生。そして男女約200人いるこの中から俺、神崎 良平が選ばれる。え？俺が生徒会長？いやいや、勉強ダメダメな俺ができるわけじゃないですか。え？おもしろそうだからいいって？ちょ、先生！！！！勉強ダメダメな生徒会長、つまり俺と愉快的仲間達の生徒会ストーリーー

プロローグ（前書き）

どうも、左右といいます。初の小説チャレンジ
アドバイス、感想くれたらうれしいです。
誤字の指摘などもお願いします。

ブローグ

新学期。新しく来る新入生、進学して学年が一つ上がる在学生

ここ、遊永高校^{ゆうえいこうこう}では、入学式を行った後日、生徒会を決める全校集会がある。

遊永高校では、立候補して生徒会に入る一般的なやり方が会長に適用されない。なぜなら「くじびき」で生徒会長が決まるからだ。なんでも、校長先生が「真面目な人が生徒会長やるよりくじびきで決めた方がおもしろいんじゃないか」とのこと。くじびきのやり方は箱に生徒の名前が書いた紙を入れ、1枚とり出し、この全校集会で生徒会長が決まる。3年生は受験に専念するように、生徒会は2年生と1年生で構成される。そしてくじびきの対象になるのは2年生。

そして今日は生徒会長を決める全校集会

男女は合わせて約200人、つまり当たる確率は約0・5%

そんなことを思いつつ俺、神崎^{かんざき} 遼平^{りょうへい}は集会が終わるのを待っている。

どうせ自分が当たる確率など0に近い数値、当たるはずがない。後は終わるのを待つだけだ。

「えーそれでは、今から生徒会長を決めます。当たった人に拒否権はありません。」と言う校長。

拒否権ないって、えー・・・
生徒会長に選ばれた人は大変そうだな。選ばれたら強制だし。

「今年度の生徒会長は・・・」

早く終わらせてくれ、いい加減体育座りで腰とかが痛いんだが、

「2 - Aの・・・」

あ、うちのクラスか。だいたいクラスの人数が40人だから・・・
当たる確率が2・5%。2%ぐらい何も変わらないだろ。

「2 - A 神崎遼平君に決まりました」

え・・・？オレガセイトカイチョウ？キットオレトナマエガニ
テルヒトダヨネ？

そうはいつでもこの学校に名字が「神崎」なのは俺しかない。
いやいやいやいや、勉強嫌いで授業中とか普通に寝てて遅刻したり
して成績底辺でゲームマンガが好きな基本遊んでる俺が生徒会長なん
て勤まるわけないじゃないですか。
そうでしょう？校長先生？

校長先生↓超笑顔つす

「みなさん、神崎君に拍手！」

え、何これ。先生方が拍手してるってことは俺生徒会長決定ですか？
そしてみんなから拍手を受ける俺。

大半は「俺（私）に当たらなくてよかったー」とか思ってるんだろ
うなあきつと。

1部悔しがってる人がいるな・・・代わってあげようか？むしろ代わってください。

俺が生徒会長・・・えー・・・

せめて生徒会役員はカワイイ子が来ますように！！

とりあえず自己紹介でも

見事に約0・5%の確率に当たって生徒会長に決まった俺。

生徒会なんて一切興味ないし、生徒会室なんて入ったこともない。ていうか生徒会って何するところなんだ？

「まさかお前が生徒会長になるなんてなー、今年の生徒会はおもしろくなるな。」

そう言っただけで背中叩きながら話してくる我が担任、大野先生（おおのせんせい）。

大野先生はスポーツ万能な熱血体育系教師。体育の授業では自らも授業に参加する始末。もちろん授業内容が試合（主にサッカーやバレー）の時も参加する。試合に参加した時には周りの生徒からは「チート先生キター！これで勝てるぞ！」など言われる。実際、強さは学生の俺らに比べてはチート級。生徒指導が熱心で、生徒の悩みなど聞いてくれる結構人気な先生。

「いやいや、くじびきだから偶然だし。」

ていうか背中痛かったツス、先生

「困った時は俺に相談しろよ？いつでも力になるぞ。」

「それじゃあ生徒会長を別の人に変えろ。」

「却下」

「即答かよっ」

「俺は校長先生じゃないからな。できる限りのことはやるぞ？」

「わかりました。では生徒会にカワイイ子を入れろ。」

「それじゃ放課後、生徒会室に集合な。今日中に他の役員も決まるらしい。」

きつちりスルーされた。どうやら生徒の悩みを聞いてくれるのは俺

に適用されないらしい。

そうして大野先生は去って行った。

放課後に生徒会室か・・・

休み時間はクラスメイトから「今年は神崎が生徒会長かー」「お前運やばいなww」「とりあえず頑張れ」とにかく色々言われた。こいつら絶対他人事だと思ってるな、ということは口に出さず心の中で呟く。

会長って何やるのか。てか生徒会って何。

そんなことを考えてるうちに時が過ぎ放課後

遂に放課後、そして俺は今生徒会室の前に立っている。

・・・やっぱ行かなきゃ駄目だよな。

決心した俺は生徒会室のドアを開けた。

「よお、神崎生徒会長。」

「池上!?!」

俺の親友である 池上 慶（いけがみ けい）がそこにいた。成績優秀でスポーツ万能な知的メガネな奴。いわゆる優等生的エリート的な感じ。そしてロリコン。本人曰く「俺はロリコンではなく単にカワイイ女の子の面倒見がいい保育士的な男子高校生だ（キリッ）」と言ってるがどう考えてもロリコン（ry

てかお前生徒会入るんなら俺の代わりに生徒会長すればいいじゃんか・・・。

もちろんそんなことはできないのだが。

それでも親友が生徒会にいたことは非常に嬉しい。色々面倒事押し付けられるからな―

「やつほー、遼平―」

「愛川？なんでお前がここに？」

「アタシも生徒会の一員だよ」

「マジかよ」

幼馴染の 愛川 琴葉（あいかわ ことは）。成績は意外に良い方で、家事が得意。そして活発で負けず嫌い。しかし行動が活発でいつも「やりすぎ」のところまで持つていく俺の周りで騒ぎを起すトラブルメーカー。本人は自覚してないらしいが。おかげで多少のトラブルには慣れる俺って・・・

正直かなり驚いた。だって生徒会にトラブルメーカーの愛川がいるなんて・・・色々大変そうだ。

他に見慣れない子が二人。どうやら1年生らしい。

それも女子。しかもカワイイ！！！！一人は小柄な子で、もう一人は髪が長い子。

この小柄の子が池上に何かされそうで心配だな、あいつロリコンだし・・・

「神崎、何か言った？」

「いや、何でも」

相変わらず恐ろしい観察力というか、思考というか

生徒会に入って1日目

「とりあえず自己紹介でもやるか。」

・・・あれ、俺は「くじびきで生徒会長になった神崎 遼平です」
とでも言うべきか

「じゃあまずは会長からどうぞ（笑顔）」

おいこら池上、言う言葉が決まらない俺に何を言えと。
そうは言っても1年生＋愛川（＋池上がこっちを見ている。これは
もう俺から順言うしかないと。
適当に言っとくか・・・

「生徒会長になった神崎遼平、みんなで協力してこの学校をより素
晴らしくしていこうと思う。1年間よろしく。」

アハハハ、何か適当にキレイ事言っちゃったよ

（・・・神崎。熱でもあるのか？）

池上が俺に小言で話してくる。

（熱？ンなもんねえって。それより次お前だろ？）

（だってお前全然似合わないこと言っちゃってさー（笑））

（俺もそう思ってる。てか笑うんじゃねえー！！！！）

「二人で何話してるの？遼平、自己紹介は終わり？」

愛川に注意された。

「いや、何でもない。俺は以上。次、副会長よろしく。」

「俺は副会長の池上 慶。池上先輩、慶先輩、（お兄ちゃん（ボソッ））、なんでも好きなように呼んでくれ。あと会長は頼りないから、わからないことがあったら俺に聞いてくれ。それじゃ、よろしく。」

「……あれ、何か変な単語が聞こえたような……それより俺が頼りないのは確かかもしれないが、単の女子と話したいだけだろコラ」

「次はアタシね。同じく副会長で名前は 愛川 琴葉。好きなものはカワイイぬいぐるみと甘いもの。みんな元気でやっていこう！副会長として頑張るから、みんなよろしくね。」

頑張るってもトラブルが起こるのが目に見える……。

「次は書記、よろしく。」

書記はどうやら小柄な方の1年生らしい。

「えっと……書記になった篠原 日和（しのはら ひより）です。好きなことは本を読むことです。これからよろしくお願いします。」

池上が勢い良く立ち上がった。

「日和ちゃん、わからないことがあったらなんでも聞いてね。」

流石小さくてカワイイ子好きな（ロリコンの）池上。早速お話しに行ったか。

「……え？あ、はい。わかりました。」

何かめっちゃビビったって感じだな。そりゃ誰でも自己紹介した直後に池上が寄ってくればビビるか。

「最後に会計、よろしく。」

最後に髪が長い1年生の子。にしても髪キレイだな

「わかりました。会計になった秋宮 沙耶（あきみや さや）です。中学の頃も生徒会に入っていたので、それを活かして頑張りたいです。よろしくお願いします。」

見た目お嬢様って感じだな。

中学の頃も生徒会に・・・委員長タイプか。俺とは大違い。

「これで全員自己紹介が済んだし・・・今日は解散でいっかー」

はつきり言って自己紹介が済めばやることがない。

「それじゃ、お疲れーッス」

家へ帰った俺はベッドに倒れ込み、そのまま眠りに落ちた。

今日は色々大変だったなー・・・これらも大変そうだけど。

決意表明らしい

朝の日差しが俺の顔に射す

「・・・眩しい、眠い」

誰だ、カーテン開けた奴は。

俺の貴重な睡眠を妨害しやがって・・・

「お兄ちゃん！起きて！」

ん？その声はMy sisterの楓>かえでくじゃないか。
一体どうした、慌てるような時間じゃないだろう。

「池上くんから電話で「生徒会のことで話あるから今日は8：00
登校よろしく！」だってさ」

ん？8：00・・・？さて、今何時だ？

（ちなみにうちの学校の登校時間は8：30まで）

時計↓7：50

「うおおおおおいいいいい！！！！！！後10分しかねえ！！なん
でもっと早く起こしてくれなかったんだよ！？」

「30分前から起こしてるよ？」

「すいませんでした。（土下座）」

「ほら、早くいかないと池上くんづるさいよ?」

「やべえ、そうだった」

俺は速効着替えて朝飯食わずチャリに跨り、またがりくダッシュで登校

校門には笑顔な池上とめちや怒ってる愛川がいた。

「遼平、おつそーい!!」

「会長、遅かったな。」

「わ、わりい、寝坊した。」

遅刻したのはマズかったか・・・池上はそうでもないが愛川がめちや怒ってる。

「それじゃ愛川、今日の昼飯代よろしく。」

「・・・わかったわよ。」

え?何?俺の遅刻で昼飯賭けてたの?それで愛川不機嫌なの?

「遼平、あんたのせいだからね!」

理不尽すぎる・・・。

「で、生徒会の話ってなんだ？」

「そうそう、そのことだが―」

簡単に、今日の集会で生徒会が何かするらしい。生徒会としてやる気を示す・何だっけ、決意表明ってやつ？それやるらしいからそれぞれ集会で言う事考えるらしい。もちろんくじびきで決まった生徒会長も含める。

・・・決意表明？

「池上、俺言うことくないか？」

「心配すんなって、俺も考えてやるからさ」

エリートなコイツが考えてくれるなら安心できるな、多分

「そういえば他の奴らには言ったのか？」

「昨日伝えたぞ？お前帰った後」

「なんで俺には伝えなかった？？」

「だって賭けできないだろ？」

ひでえ、コイツ俺使って賭けてる

俺は休み時間に池上から一枚の紙切れをもらった。

内容は集会にて俺が言うことらしい。
流石に集会だけあって真面目っぽいことが書いてある。上から下までびっしりと。

時は過ぎて、集会TIME

「これより、生徒会より、決意表明を行います。」

来た、ついにこの時が来た。

俺がこの学校に入って1年、初めてこの場所＞体育館ステージ？<に立つ。

……めっちゃ緊張する。

一人ずつ決意表明をしていく中……、

「副会長になった池上慶です。僕は生徒会に入ったのは、この学校をもっと楽しく、過ごしやすいような学校にして、一人ひとり、みんなが輝くことができる。そんな学校にしたいです、その為に、去年の生徒会ではなかった活動を提案し……。」

「最後に、生徒会長（笑）の神崎くん、お願いします」

ついに俺の番が来た。

てかあいつゝ池上くめちゃ真面目なこといつてたな、普通ってメモとか見ながら言うらしいけどあいつは持ってなかったな・・・頭で暗記とかやってるんだろうなきつと。

さてと、俺は池上からもらったメモを見ながら言わせてもらっか。

俺は右ポケットに手を入れ――

右ポケット↓チャリ鍵

・・・・・・メモがない？

あれ、おつかしいな！。そうか、左ポケットだったか。俺かなり緊張してるな！。

左ポケット↓消しゴム

あれれれれ、あ、そうか。胸ポケットか。そうか。そうだったな。

胸ポケット↓学生証

うおおおおおおおい！！！！！！メモなくしたあああああ
あああああ！！！！

どうする？その場で倒れて保健室でも行くか？
いやいや、保健室行ったとして顔色、血色良いからすぐバレる。

池上に相談する？

いやいや、この場で後ろ向いて相談するとか無理すぎる。

名前告げて終わるか？

いやいや、俺の高校生活も共に終わる。

やばいぞ俺、高校生活最大のピンチ到来。

思ったこと言っちゃえ

紙切れなくして体育館ステージに棒立ちしている俺。

俺、只今絶賛絶望中。

生徒＋教師達が見ているな・・・何か言わないとな。

こういう時こそアドリブが大事、その場に合わせて行動すればいいはずだ！！

とりあえず、

「えーと、生徒会長の神崎遼平です。」

・・・次言うことわからねええええ！！！！

アドリブ？ナニソレ？オイシイノ？

駄目だな、もうどうにでもなれ。

俺は思ったことを次々と言葉にしていた。

「俺は、生徒会長になったことになんか驚いた。俺なんか生徒会長が勤まるのか、俺なんかが生徒会長でいいのか。そんなことを考えてた。でも、俺は生徒会長になった。それなら、俺は生徒会長としてやれることを頑張りたいと思う。絶対めんどうだと思っけどんな機会滅多にないんだから、損はないだろ？俺が生徒会長になつてこの学校が良くなるのか、悪くなるのか、そんなことはわからない

い。それでも俺は頑張る。だから、みんな生徒会に協力してほしい。」

俺は思ったことを言った。

文法がおかしいとか、そんなことは知らない。

言葉が重なり意味を奏でる。それでいいだろ？

生徒＋教師達から、俺への拍手が起こる。・・・これって俺への拍手か？

大野先生の拍手が爆発音にしか聞こえないのは気のせいだ。多分。）

「これにて、生徒会より決意表明を終わります。」

その後、生徒会に集まった俺達

「神崎、お前らしくないけどいいこと言ってたなw」

「うつせー、黙っとけ。」

「会長、少し見なおしました。」

ん？秋宮が俺に「見なおしました」と。これは好感度UPじゃないか！？

てか見なおしました〃最初の印象は「頼りない」ってトコか・・・

「そーいや、紙切れどこいったんだ？」

「ところで池上からもらった紙切れ知ってる人いないか？」

秋宮↓紙切れって何ですか？

篠原
↓
知りません。

愛川
↓知らないよー

池上↓俺も知らないな（笑顔）

「おい池上、お前何か隠してるだろ？」

「いや、俺は知らないって」

嘘付け、笑顔で何言ってやがる。

「ちょっとバンザイして」

「ん？こいつか？」

池上
↓
バンザイ

俺は池上の右ポケットから2枚の紙を取り出した。

「あ、おい！返せよ！」

えーと何々、1枚目の紙には池上が決意表明の時に言っていた様な事が。

そして、2枚目の紙には俺が言うはずの内容が……

「なんでお前がこれ持つてんだよ!!!!!!!!!!!!!!」

「だって俺何も見ずに言ったんだぜ？お前もそうしろよー」

「本当は？」

「おもしろそうだったから。」

そうか、俺はコイツのおかげで絶賛絶望中だったのか。
なるほどね、納得、understand

「覚悟はできてるんだろ？なああああ！！！！」

俺が池上を追いかけに行つた瞬間・・

「お前たち、何やってんだ！？」

教師が入ってきた、てか誰？

・・・・・・熱血野郎（大野先生）かよ

「いえ、何もしてませんよ。池上に借りてた10円を拳で返そうと
しただけですよ。」

by俺（神崎

「そうそう、俺はそれをキャッチしようとしただけですよ。」
by池上

流石は親友？、話を合わせるのは朝飯前だ。

「それよりなんで熱血y・・・大野先生がここに？」

「今年の生徒会の顧問は俺だ。」

「……………はい？」

今年の顧問は熱血野郎？嘘だろ？

夏場に冷房使ってもセルフサウナできる熱血野郎と？

地球温暖化の原因の一つは熱血野郎と考えている俺。）

「そういうことでよろしくな、生徒会諸君。」

最悪だ、よりによって熱血野郎かよ……

おかげで生徒会長としての大変さが2乗されそうだな。

大野先生が顧問に決まったことが発表？され、今日の生徒会活動終了。

まだ生徒会らしい活動してない気がするけど、楽でいいや。

思ったこと言っちゃえ（後書き）

―アトガキ―

神崎「何だ？ここ？」

左右「アトガキ、まあ生徒会の報告書的なトコ」

神崎「うおっ！？誰だ？どちら様？」

左右「作者」

神崎「作者さんが出演していいのかよ。大丈夫なのか？」

左右「大丈夫だ、問題n（ry）」

左右「それじゃ、とりあえず詳しく自己紹介やってもらっかな」

神崎「了解っ、それじゃまずは俺が―」

左右「おっと、アトガキ長くなるのもアレだし次回ねw」

神崎「折角俺がやる気出したのに・・・」

左右「そのやる気は次回に使うこと。」

神崎「はいはい、それじゃ―」

神崎・左右「感想待ってます！」

巻き込み勘弁（前書き）

受験で更新できませんでした。
間空いちゃってスイマセン（

巻き込み勘弁

朝・・・

それは1日の始まりであり、俺の嫌いな時間。
太陽って眩しすぎる。

寝起きの俺には「こうかは　ばつぐんだ!▼」みたいな表示がされてるに違いない。

俺は眠い中チャリに跨り学校へ向かった。

「遼平ー」

ん？誰か呼んだか？

後ろを振り向くと愛川が通学カバンを此方に投げてきた。
俺の顔面に。

当然眠い中対処に追いつくはずがない俺は顔面でカバンを受け止めてチャリはバランスを崩してぶっ倒れた。

「いつてえー！何しやがる！」

「約束」

は？約束？そんな覚えはないな。

「約束？そんな覚えはないぞ？」

「今日のお昼よろしくね」

何言ってんだコイツ、意味がわからん。

「一体何のことだよ？」

「わからないの？」

「わからん。知らん」

「最初の生徒会の集まりで遼平が送れたおかげで私池上君に賭け負けたよね？」

負けた奴は昼奢るとかだったっけな。そっぴやそんなことあったな。

「それがどうした？」

「遼平のせいで負けたんだから遼平がお昼奢りなさい！」

「はあ！？」

「もちろん、私の分も！」

ふざけんなっ！俺はそんなに金持ってねえよ！

実は、昨日ゲーム「夢物語」DreamStory？を買ったおかげで金欠状態。

（夢物語＝DreamStory：主人公が夢で敵と戦うRPGゲーム、戦闘システムがおもしろい）

昼奢る金どころか俺自身のにもピンチだったのによ・・・
金あったとしても奢らないけどな。

とにかく、俺が金持っていないことを言えば諦めるだろ。

「俺昨日ゲーム買ったから金ないんだよ」

「それじゃ貸そうか？」

即答かよ……。俺金ないこと知ってるのか？

「それは遠慮」

「じゃあお昼どうすんの？」

「てかなんで俺が奢るの前提なんだよ」

「アタシが負けたのには遼平に責任あるからに決まってるじゃん」

早速トラブル発生確定、もちろん標的は俺。

……こうなりや巻き添えだな。

「俺が遅れてくる方に賭けたお前にも責任がある！」

「ええ！？」

何言ってるんだろうな、俺。

そのまま話はヒートアップして――

俺は諦めた。

だってもうめんどいし、眠いし。

「もうわかった、昼飯奢るのは無理だけど他に何かかしてやる。」

「じゃあ……。お弁当作ってきて。もちろん手作りだね！」

「はいはい、もういいな。じゃあ……。な……。？」

あれ、めんどいから話流してOKしたけど何かマズイことになった気が……。

「やったあー！それじゃお弁当明日よろしくね」

「え？わ、わかった」

愛川はそのまま校舎へ去って行った。

何か強引に押し切られた感じするけど。
それにしても、どうしてこうなった。

まず話をまとめるか。

- 1、愛川が池上との賭けに負けたのが俺の責任だと言う
- 2、俺は反論する
- 3、話がヒートアップする
- 4、もうめんどくなってきた
- 5、適当に話OKしとく
- 6、明日の愛川と池上の昼飯は俺の手作り弁当

イヤイヤイヤイヤ、ムリムリムリムリ。俺が料理するキャラに見えますかww？

ていうか愛川さん家事全般得意ですよ？料理って貴女の分野ですよ？

俺の分野は基本遊び系ですよ？料理とか家庭の時間にやった程度です？

でも、まあ、こうなったのは俺のせいじゃないわけでもないし・・・

仕方ないか。男に二言はない！

誰かに弁当の作り方で聞くか・・・

アテがないな・・・

校内放送で「俺に弁当の作り方教えてくれる人は至急生徒会室まで」
つてのは流石に無理だろうし。
ていうかそんなの俺が恥ずかしい。

歸りに料理本でも買うかな。

こんなんで金使うなんて予想外すぎるけど……

てか時間やばい！このままじゃ遅刻になるな。

俺はチャリをチャリ置きに置いて、校舎へ走った。

巻き込み勘弁（後書き）

―アトガキ―

左右「それじゃ、前回言ってた通り詳しく自己紹介を」

神崎「弁当・・・作り方・・・料理・・・材料・・・」

左右「どうした？」

神崎「うお！？いや、なんでもない。自己紹介だったな」

<生徒会長>2-A 神崎 遼平（かんざき りょうへい）

身長：176cm 体重：64kg

好きな物：ラーメン、ゲーム

嫌いな物：貝、勉強、大野先生

見事にくじびきで選ばれ、今年度生徒会長を務める。

ある意味強運の持ち主？愛川と幼馴染で池上と親友。

神崎「こんな感じ？」

左右「そんな感じ」

池上「それじゃ、次回は俺かな？」

左右「そうなるかな、次回よろしく」

池上「はいはい、わかりました」

左右「それじゃ」

神崎「感想待ってm・・・あれ？・・・俺だけ？」

左右・池上「感想待ってます！」

神崎「え、おい！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8041q/>

俺が生徒会長！？

2011年10月8日18時35分発行